※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　持続可能な未来をつくる（第一学習社）						
副教材等	生活学Ｎａｖｉ資料＋成分表　２０２３（実教出版編修部）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科は、家庭生活で必要な知識や技能を身に付けるとともに、暮らしと社会の課題を結びつけて考え、新しい価値観や行動を生み出すことを目指しています。環境や社会、経済について総合的に考え、持続可能な社会への課題と向き合い、家庭科で学んだ知識や技能を生かしてよりよい社会と暮らしの担い手になりましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月		・家庭科の学び方 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	a: ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実践方法について理解している。	プリント		
5月	食生活をつくる	・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全のために ・食生活をデザインする	a: ・生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために、栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を身に付けている。 ・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康・など食生活に関わる情報を適切に判断し、食生活を主体的に営むための必要な知識を身に付けている。 b:食品の安全や調理上の性質、自己や家族の食事、家族や環境に配慮した食生活、持続可能な社会を目指して主体的に行動できるライフスタイル、これらについての問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 確認テスト 実習	定期考査 ワークシート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

6月 7月	経済生活をつくる	・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会をめざして	a:消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定、生活情報を適切に収集・整理できること、契約の重要性、消費者保護の仕組み、消費者の権利と責任を自覚して行動すること、家計の構造、家計管理について理解しているとともに、適切にできる。 b:自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することやライフステージや社会保障制度などと関連付けて、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	プリント ワークシート 確認テスト 定期考査	プリント ワークシート 定期考査	振り返りシート 生徒観察

※令和４年度以降入学生用

９月	ともに生きる	・社会保障制度と社会的連帯 ・人の多様性と社会参加	a:生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し，実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	プリント ワークシート 定期考査	プリント ワークシート 定期考査	プリント ワークシート 振り返りシート 生徒観察

※令和４年度以降入学生用

10月	衣生活をつくる	・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活	a: ・被服の機能と着装、被服素材、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深めることができる。 ・生涯を通して健康・快適・安全な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術および、環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身に付けている。 b:安全で健康に配慮した被服の管理および、持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 確認テスト 実習	定期考査 ワークシート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

11月	住生活をつくる	・人の一生と住まい ・住生活の計画と選択	a: ・生涯を見通した住生活について考え、将来にむけて自立するために、住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 ・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解している。 b:住居の機能性や快適性、環境に配慮した住生活や住環境、持続可能な社会を目指して主体的に行動できるライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

12月	次世代をはぐくむ	・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子育て支援と福祉	a:子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解している。 b:子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解を深めている。乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育について考えを深めている。 c:社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について思考を深めている。子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとしている。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート	生徒観察 プリント ワークシート
	充実した生涯へ	・超高齢社会を生きる ・人生のなかで高齢期をとらえる ・高齢期の生活 ・高齢社会を支える ・充実した高齢期へ	a:超高齢社会の背景、高齢者を取り巻く社会環境について理解している。高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 b:高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考えを深めている。高齢期を支える社会の仕組みや課題について思考を深めている。 c:高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方について、具体的に考えようとしている。家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート	生徒観察 プリント ワークシート

※令和４年度以降入学生用

1 月	持続可能な生活を営む	・持続可能な社会を目指して	ａ：生活と環境との関わりや持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b:安全で安心な生活と消費、持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し，実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	プリント ワークシート 定期考査	プリント ワークシート 定期考査	プリント ワークシート レポート課題

※令和４年度以降入学生用

１ 月	これからの生き方と家族	・生涯の生活設計 ・家族・家庭と社会とのかかわり	a: ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深めている。 b:ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としの役割を果たし家庭を築くことの重要性について、問題を見いだいて課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	確認 テスト 定期 考査	ワーク シート 定期 考査	ワーク シート 振り返り シート

※令和４年度以降入学生用

２月	ホームプロジェクト	・生活をデザインする	a: ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることについて理解している。 ・生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 b:生涯を見通した自己の生活、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、ホームプロジェクトで実践しようとしている。	プリント ワークシート	プリント ワークシート	プリント ワークシート レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度